

## 大原社会問題研究所五十年史

## Ⅴ 戦後

## 戦時下の労働運動を回顧する会

一九六五年一月、アムステルダムにある International Institute of Social History（社会史国際研究所）より、同所の所蔵するマルクス『資本論』手稿の一部を写したマイクロ・フィルムが研究所に送られてきた。これは、前年、社会史研究所より、大原研究所の所蔵する社会運動家、学者等の肉筆書簡類のマイクロ・フィルムと『資本論』の写真複写を交換したいとの申入れがあり、両者の合意が成立した結果である。折返し研究所からも、書簡類のフィルムを送った。

戦時版年鑑第二部『太平洋戦争下の労働運動』はこの年一〇月、労働旬報社から刊行された。年鑑はこれまで東洋経済新報社から発行されてきたのであるが、新報社は今年以後の発行を辞退したい意向を表明した。同社と研究所との間に数次にわたる折衝がおこなわれた結果、今年以後同社からの発行を打ち切り、新しく労働旬報社と年鑑発行契約をとりかわすにいたったものである。

戦時年鑑発行を記念して、研究所主催の「太平洋戦争下の労働者状態、労働運動を回顧する会」が一二月一五日、東京市ヶ谷・私学会館において開かれた。久留間所長「大原社研について」、宇佐美研究員「戦争下の労働者、労働運動について」の談話のあと、加藤勘十、西尾末広、金子健太、沼田稲次郎、高野実氏ほか数氏の談話があり盛況であった。

六五年九月、一橋大学松川七郎教授より、統計学者J・P・ズュースマルヒ（一七〇七～六七年）の死後二〇〇年を記念する事業として、その著『神の秩序』初版本を写真覆刻して刊行したいので原本の使用を許されたい旨申入れがあった。『神の秩序』初版本は現存するもの数少なく稀覯本中の稀覯本である。研究所は右の申入れを快諾し、覆刻版は六七年、日本マイクロ写真株式会社より刊行された。

六五年度の調査研究事業としては、文部省科学研究費による「わが国労働市場構造の総合的研究」を前年にひきつづき実施したこと、また従来おこなってきた経済企画庁委託の中小企業調査の結果をとりまとめ、総括的報告書を作成したことである。この後者は『中小企業の賃金と労働市場』という単行本として、六六年一二月に労働旬報社から刊行された。

労働問題文献資料センターの設立準備活動は、一方において文部省、学術会議その他関係各方面と交渉しながら、内部的には所蔵原資料の分類整理、機関紙誌のカード作成、文献集収などの形で進められた。また、経済学辞典の作成は、カードの補充をつづけながら、その編集作業を開始した。また研究所所蔵の経済学古典文献目録をつくるため、これまで作成してきた書名カードの整理をおこなった。

六五年度の出版物は、年鑑、『太平洋戦争下の労働運動』のほか、『資料室報』、『日本労働組合評議会資料』（その一〇）等であった。

---

[前のページ](#)← 法政大学大原社会問題研究所五十年史【目次】 →[次のページ](#)

---

[研究活動・刊行物](#) [OISR.ORG全文検索](#)

---

[法政大学大原社会問題研究所\(http://oisr.org\)](http://oisr.org)

---